

事業報告及び収支決算報告書

(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

I. 事業報告

1 「世界少年野球フレンドシップ東京大会」の開催

- (1) 大会趣旨 「正しい野球を全世界に普及・発展させる」という財団設立の趣旨を実現させると同時に、第31回オリンピック競技大会(2016年)での野球競技の復活を目指すとともに、同大会の東京招致を実現することを目的に開催した。
- (2) 主催 財団法人世界少年野球推進財団
東京都
財団法人日本野球連盟
- (3) 共催 大田区
- (4) 後援 総務省 外務省 文部科学省 厚生労働省 経済産業省
国土交通省
特定非営利活動法人東京オリンピック・パラリンピック
招致委員会
社団法人東京都医師会
財団法人全日本軟式野球連盟
財団法人東京都軟式野球連盟
NHK 株式会社NHKグローバルメディアサービス
朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社
- (5) 協力 財団法人JKA 全日本アマチュア野球連盟
日本プロフェッショナル野球組織
- (6) 協賛 アコム株式会社 アサヒ飲料株式会社
カシオ計算機株式会社
ジャパンローヤルゼリー株式会社 セコム株式会社

大正製薬株式会社 株式会社デザート
株式会社東京ドーム 株式会社東芝 TOTO株式会社
ナガセケンコー株式会社 西川産業株式会社
株式会社日本航空 ミズノ株式会社

(7) 協力会社 株式会社GABA 品川プリンスホテル
株式会社ジャルセールス 株式会社千修

(8) 大会概要 海外5か国・地域から招請した少年少女チーム5チーム
と都内の少年少女チーム10チームが国際交流試合を行
った。国際交流試合を午前中に行い、午後は海外のチー
ムと大島町のチームが都庁など見学した。

(9) 期 間 平成21年7月26日(日)～7月31日(金)

(10) 会 場 大田スタジアム
大井ふ頭中央海浜公園・スポーツの森野球場

(11) 宿 舎 品川プリンスホテル

(12) 参加者数 オーストラリアチーム 18人
カメルーンチーム 18人
カナダチーム(少女) 15人
ドイツチーム 18人
台湾チーム 18人
ゴールドデン・コンドル(世田谷区) 20人
オール大田(大田区) 20人
興宮ファイターズ(江戸川区) 24人
山中ビーバース(品川区選抜) 23人
上小立野クラブ(練馬区) 23人
二小ブラックイーグルス(府中市) 18人
オール大島(大島町) 18人
足立フレンズ(足立区、少女) 23人
足立ジャイアンツ(足立区) 23人
オール板橋(板橋区) 23人

(13) 日程

- 7月26日(日) 海外チーム到着 受付 用具配布
- 27日(月) 用具配布
練習(大井ふ頭中央海浜公園)
交流行事(葛西臨海公園・水族館見学)
- 28日(火) 練習試合(大井ふ頭中央海浜公園)
ウェルカムパーティー(品川プリンスホテル)
- 29日(水) 記念撮影(大田スタジアム)
開会式(大田スタジアム)
交流試合(大田スタジアム、大井ふ頭中央海浜公園)
交流行事(JAL整備工場見学)
交流行事(プロ野球巨人対中日戦観戦、東京ドーム)
- 30日(木) 交流試合(大田スタジアム、大井ふ頭中央海浜公園)
交流行事(都庁見学・展望台)
交流行事(NHKスタジオパーク見学)
グッドウィルパーティー
- 31日(金) 海外チーム帰国

2. WCBF少年野球教室の開催

財団主催の野球教室。小学生と少年野球指導者を対象に、埼玉県所沢市で開催した。

大正製薬少年野球教室(大正製薬との共催)

期 日 平成21年4月11日(土)

会 場 所沢市・所沢中野リトルリーグ専用球場

講 師 西本聖(巨人OB)

田野倉利男(中日OB)

市川和正(横浜OB)

参加者 中野リトルリーグ所属の選手約100名

この野球教室に参加したリトルリーグ東京連盟に所属している東京中野リーグは、8月下旬、広島市民球場などで開かれた財団法人全日本リトル野球協会主催の「2009ザバスカップ全国選抜大会」で初優勝を飾った。東京連盟所属のチームが優勝したのは、2000年の江戸川南以来9年ぶりの快挙。

3. JA全農WCBF少年野球教室の開催

全国農業協同組合連合会（JA全農）の特別協賛事業として、財団が主催者となって毎年開催している野球教室。日本メグミルクコミュニティ（MEGMILK）とJA全農ミートフーズ株式会社、全農チキンフーズ株式会社、JA全農たまご株式会社の4社が協賛。この野球教室は昭和58年度から続けられており、昨年11月8日に福井県越前市で開いた「越前教室」で、全国47都道府県すべてでの開催を達成した。

プロ野球OBの講師が、少年野球の指導者に正しい指導法を教え、子どもたちにはポジション別に投手、捕手、野手に分けて、投げる、捕る、打つ、走る、の基本を指導した。また、NSCA認定トレーナーが、肩やひじの障害を予防するトレーニング方法や成長期にある子どもたちの体づくりの基本を指導した。教室は次の5か所で開催した。

兵庫県三田市で開かれた教室では、母親を対象に管理栄養士から「成長期にある野球少年の食事について」を講義をしてもらった。母親を対象にした栄養講座は、去年の長野県諏訪市に次いで2回目。受講した母親からは大好評だった。

1) 糸満教室

期 日 平成20年10月11日（土）

会 場 沖縄県糸満市・西崎球場

講 師 村田兆治（ロッテOB、財団専務理事）

屋鋪要（巨人OB） 本西厚博（ロッテOB）

尾山末雄（NSCA認定トレーナー）

参加者 少年215名 指導者50名

2) 越前教室

期 日 平成20年11月8日（土）

会 場 福井県越前市・家久スポーツ公園ソフトボール場

講 師 村田兆治（ロッテOB、財団専務理事）

市川和正（横浜OB） 屋鋪要（巨人OB）

本西厚博（ロッテOB）
吉田直人（ウィダートレーニングラボ）
参加者 少年136名 指導者22名

3) 三田教室

期 日 平成21年7月25日（土）
会 場 兵庫県三田市・アメニス城山体育館
講 師 村田兆治（ロッテOB、財団専務理事）
市川和正（横浜OB） 屋鋪要（巨人OB）
本西厚博（ロッテOB）
吉田直人（ウィダートレーニングラボ）
海老久美子（管理栄養士 栄養学博士）
参加者 少年252名 指導者91名 母親25名

4) 三原教室

期 日 平成21年9月19日（土）
会 場 広島県三原市・三原運動公園三原市民球場
講 師 村田兆治（ロッテOB、財団専務理事）
市川和正（横浜OB） 屋鋪要（巨人OB）
本西厚博（ロッテOB）
吉田直人（ウィダートレーニングラボ）
参加者 少年187名 指導者47名

5) うきは教室

期 日 平成20年9月26日（土）
会 場 福岡県うきは市・うきは市スポーツアイランド野球場
講 師 村田兆治（ロッテOB、財団専務理事）
市川和正（横浜OB） 屋鋪要（巨人OB）
本西厚博（ロッテOB）
吉田直人（ウィダートレーニングラボ）
参加者 少年193名 指導者18名

4. エバーライフ・皇潤WCBF少年野球教室の開催

当財団が、株式会社エバーライフの特別協賛とアサヒ飲料株式会社の協賛を得て、今年度初めて開催した少年野球教室。講師はプロ野球OB。まずキャッ

チボールを指導した後、ポジションごとに分かれて守備の練習をし、打撃とピッチングを指導した。野球の経験のない参加者には、野球の基本を教えた。計5会場で開催し、計887名の少年少女が参加した。

ヤフードームで開催された第1回教室では、王理事長が校長となり、子どもたちに指導した。各会場とも地元の新聞社が共催者となり、参加者募集などの告知を担当してくれた。また、開催地の自治体と教育委員会が後援団体となった。

1) 福岡教室

期 日 平成21年5月5日(祝)

会 場 ヤフードーム(福岡市)

講 師 王貞治理事長(校長)

池田親興 西村龍次 永井智浩 若菜嘉晴

坊西浩嗣 大野隆治 浜名千広 田中瑞季

出口雄大(いずれもソフトバンクOB)

参加者 196名

2) 兵庫教室

期 日 平成21年6月13日(土)

会 場 スカイマークスタジアム(神戸市)

講 師 田野倉利男(中日OB)(校長代理)

西本聖(巨人OB) 南牟礼豊蔵(オリックスOB)

柴原実(オリックスOB)

参加者 162名

3) 愛知教室

期 日 平成21年7月11日(土)

会 場 ナゴヤ球場(名古屋市)

講 師 田野倉利男(中日OB)(校長代理)

鈴木孝政(中日OB) 鹿島忠(中日OB)

川又米利(中日OB)

参加者 182名

4) 北九州教室

期 日 平成21年8月29日(土)

会 場 北九州市民球場(北九州市)

講 師 王貞治理事長（校長）
今井雄太郎 加藤伸一 坊西浩嗣 藤原満
藤本博史 山本和範（いずれもソフトバンクOB）
参加者 201名

5) 神奈川教室

期 日 平成21年9月13日（日）
会 場 横浜スタジアム（横浜市9
講 師 田野倉利男（中日OB）（校長代理）
西本聖（巨人OB） 斎藤明夫（横浜OB）
屋鋪要（巨人OB）
参加者 146名

5. 会報の発行

WCBF会報第32号及び第33号を発行し、財団の事業内容や活動状況を広報し、併せて協賛企業や寄付者（社）、法人会員、個人会員、構成団体会員を募った。

様 式 B5判 カラー印刷
ページ数 32号が24ページ 33号が20ページ
発行部数 各5,000部
発 行 日 32号（平成20年10月1日付）
33号（平成21年4月1日付）
配 布 先 世界少年野球大会参加者
協賛企業 寄付者 WCBF会員（個人、法人、構成団体）
マスコミ 関係官庁 野球団体 その他

5. グッズの収益事業

サンリオのキャラクター、ハローキティを生かしたプロ野球球団のぬいぐるみやキーホルダー、タオルなどのグッズの販売は、売り上げ全体が対前年度販売実績を20%も上回る実績を残すことができた。

これは、今シーズンから西武ライオンズが商品化に協力してくれたのと、セ・リーグの読売ジャイアンツと阪神タイガースの関連商品の販売が好調だったためだ。とくに、球団創立75周年を迎えた読売ジャイアンツが、ファン獲得や観客動員のための販促商品にハローキティの商品

を採用してくれたことが、売り上げ増に大きく貢献した。

今年度とくに顕著だったのは、これまで以上に各球団と球場の協力が得られたことだ。東京ドーム（巨人）と神宮球場（ヤクルト）の売り上げが前年度に引き続いて好調で、今シーズン初めに完成した広島東洋カープの本拠地、広島マツダスタジアムに多くの観客が訪れ、グッズの売り上げが前年を大きく上回った。球団では、リーグ優勝した北海道日本ハムファイターズの商品が、本拠地の札幌ドームだけでなく、他球場でも売り上げが伸びた。

以上